



Title	井戸さん、ほんまにありがとう
Author(s)	マーコ
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 32
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100733
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

井戸さん、ほんまにありがとう

マ ー コ

社会福祉法人ふるさとの家

井戸さん、ほんまにありがとう。

井戸さんが亡くなったと聞き驚いています。メールをいただき、そばにいるスタッフに「井戸さん亡くなってんて！！」と言うと、

「いどさん・・・??」

「あの、何回会っても『井戸でございます』の緑の名刺の人、結核博士」

「ああ、えーーーーー！！！」

井戸さんは、結核罹患者の多い釜ヶ崎で、結核がなくなることをひたすら願い活動してくださいました。普段は穏やかでにこやかなのに、結核や病気の施策などの話になると、

「もっとこういう方法もありますのに！本当ですよ、マーコさん！！」

といつも丁寧な口調で怒っていました。

看護学生の実習、フィールドワークに来る学生や医療従事者には、必ずふるさとの家を紹介してくださいました。井戸さんと顔見知りの労働者も多く、道端で話しかけられて進まないことも何度も。

「ヘルスサポート大阪」から「大阪公衆衛生協会」へと勤務地が変わっても、

「なんでも遠慮なくご相談ください。すぐ飛んでまいります」といつも言ってくれました。

いつも明るく笑顔の井戸さんが、もう訪ねて来てくれないと思うと残念でさみしい限りです。